



台風シーズン到来

4日(火)、5日(水)は台風のため休校とさせていただきました。ご家庭の方での被害は大丈夫だったでしょうか。学校では、大きな被害はありませんでしたが、強風により寄宿舎玄関の扉が外れて破損し、屋上の物干し場の屋根(プラスチック製)も剥がれてしまいました。

また、4日夜は国道19号から学校に上ってくる道路が倒木により一時的に通れなくなりました。本校職員と市の用地課により撤去してもらいましたが、地震など大災害が起こったとき、倒木や落石、土砂により、学校に向かう道路が寸断されてしまうこともあるのだと恐怖さえ感じました。

岐阜地区、飛騨地区の特別支援学校では、停電により電気だけでなくトイレ、エアコン、ガスなどが使えなくなったり給食が届かなかったりと、ライフラインがストップしてしまう事態がありました。非常食の備えだけではなく、緊急時のトイレ対応、予備電源などの確保についても、大きな課題であると痛感しています。



校内夏休み作品展

本館から体育館に向かう通路に(渡りは工事のため通行止めになっています)、夏休みの子どもたちが作った作品が展示しました(7日まで)。

特体連バスケットボール大会

1日(土)、岐阜市北西部体育館(山口市)で特別支援学校体育連盟主催のバスケットボール大会が開かれました。本校は、女子5人と岐阜特支の生徒2人の合同チームで参加しました。1回戦は羽島特支に10対4で負け、敗者戦では可茂特支と岐阜清流の合同チームに28対6で負け、悔しい結果となりました。けれども、どの選手も春の大会と較べると動きもよくなり、パスなどもうまくつながるようになっていきます。シュートの正確性がついてくると、試合にいい流れができるのではないかと思います。体育館が使えないという最悪の練習環境ですが、他校との合同練習や地域の体育館の使用など工夫しながら、次の大会を目指してほしいと思います。

